



図書出版

文学通信

Bungaku-Report.com

日本語・日本文学の研究書を中心に、
人文学書全般を刊行する出版社

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-35-6-201

電話 03-5939-9027 FAX03-5939-9094

2019.12.05 送信

新刊
案内

実際には起きていない合戦を作りだし、様々な武将たちの活躍を創出した特異な軍記

目黒将史〔著〕

薩琉軍記論

Satsuryū gunki

架空の琉球侵略物語はなぜ必要とされたのか

【目次】

序章 〈薩琉軍記〉研究の過去、現在

第一部 〈薩琉軍記〉の基礎的研究

第一章 〈薩琉軍記〉諸本考

第一節 諸本概観

第二節 立教大学図書館蔵「薩琉軍記」コレクションについて

第三節 薩琉軍記源流考

第四節 物語展開と方法―人物描写を中心に―

第五節 異国合戦描写の変遷をめぐって

第六節 系譜という物語―島津家由來譚をめぐって―

第二章 〈薩琉軍記〉世界の考察―成立から伝来、物語内容まで―

第一節 異国侵略を描く叙述形成の一瞬

第二節 成立・伝来、享受をめぐって

第三節 琉球侵略の歴史叙述

第四節 日本の対外意識と〈薩琉軍記〉

第五節 描かれる琉球侵略―武将伝と侵攻の正当化

第六節 偽書としての〈薩琉軍記〉

―「百里之印」からみる伝本享受の一瞬―

第二部 〈薩琉軍記〉の創成と展開の諸相

第一章 物語生成を考える―近世の文芸知識人との関わりから―

第一節 近世期における三國志享受の「様相」

第二節 語り物の影響をさぐる

第三節 近松浄瑠璃との比較を中心に

第四節 敷衍する歴史物語―異国合戦軍記の展開と生長―

第五節 蝦夷・琉球をめぐる異国合戦言説の展開と方法

第六節 予祝の物語を読む―〈予言文学〉としての歴史叙述―

第二章 甦る武人伝承―再生する言説―

第一節 渡琉者を巡る物語

第二節 渡海・漂流の繰り返す言説の考察

第三節 琉球言説にみる武人伝承の展開

第四節 語り継がれる百合若伝説

―対外戦争と武人伝承の再生産―

第五節 為朝渡琉譚の行方―伊波普猷の言説を読む―

終章 琉球から朝鮮・天草へ―朝鮮軍記・天草軍記への視座―

資料篇

薩琉軍記伝本一覧

1 立教大学図書館蔵「薩琉軍記」解題と翻刻

2 国立公文書館蔵「薩琉軍記」解題と翻刻

3 刈谷市中央図書館蔵「琉球征伐記」解題と翻刻

4 架蔵「島津琉球合戦記」解題と翻刻

5 架蔵「琉球静謐記」解題と翻刻

6 立教大学図書館蔵「琉球軍記」解題と翻刻

初出一覧（索引書名・人名・地名） あとがき



ISBN978-4-909658-20-3

C0095 ¥15000E

定価：本体 15,000円（税別）

A5判・上製・カバー装・784頁

登場人物や舞台のほぼすべてを
創作する特異な軍記、
〈薩琉軍記〉を研究する初の書。
異国と戦った者たちの物語が
なぜ必要とされたのか。
異国合戦軍記が担った役割は何だったのか。
国家の異国観が、
大衆へ浸透していく様相を解明するために、
日本文学史に異国合戦軍記を位置づける。

未知なる国、異国「琉球」
を侵略する架空の軍記

文学
コーナーで
お願いします！

【新刊申込締切】

2019年12月26日（木）

※注文扱（返条付・岡田了解）にて
搬入いたします。フリーで返品受けます。

【取次搬入予定】

2020年01月17日（金）

逆送されたら、八木書店（文学通信・岡田）了解
とお書き下さい。ご面倒をおかけいたします。

【ご注文について】

実際に手にとって見てみたいといった場合など、1冊でも構いません。遠慮なくご注文ください。

また、本書についての問い合わせも歓迎です。

営業部・岡田〔電話 03-5939-9027〕

【注文書】 FAX 03-5939-9094

メールでも承ります●info@bungaku-report.com

問い合わせはお電話で●03-5939-9027

取引取次●八木書店。八木書店を経由して、トーハン・日販・大阪屋栗田・日教販・中央社等へ搬入いたします。

●番線印

●冊数

新刊 文学通信

目黒将史〔著〕

薩琉軍記論

架空の琉球侵略物語はなぜ必要とされたのか

冊

ISBN978-4-909658-20-3 定価：本体 15,000円（税別）

◎ご担当者

◎電話番号

ご案内が不要なときはお手数ですが、03-5939-9094まで返信願います。以後のご案内を停止します。